

2025年度福岡県自動車盗難等防止対策協議会定期総会を開催

～自動車盗難および盗難自動車の不正輸出防止に関する2025年度活動方針を策定～

福岡県自動車盗難等防止対策協議会(会長：川原 芳昭・日本自動車販売協会連合会福岡県支部専務理事)では、7月23日(水)に博多サンヒルズホテルで、2025年度定期総会を開催しました。2003年度に設立された本協議会の23回目の定期総会であり、当支部は設立時から事務局を務めています。

当日は、会員11団体の出席のほか、顧問である福岡県警察本部、国土交通省福岡運輸支局および財務省門司税関や参与団体に出席いただきました。

福岡県警察本部生活安全部 生活安全総務課 池田 知弘 課長からは、「自動車盗難の状況について、平成14年のピーク時と比べると、車両自体の防犯性能の向上・防犯カメラの増加など環境の変化も相まって、現在は盗難認知件数が減少しているが、全国には増加傾向にある。また、犯罪の手口も巧妙化しているうえ、組織的かつ計画的に行われたものが目立っている。引き続き注意を払う必要があることを認識し、本協議会の活動に尽力いただきたい」とのご挨拶をいただきました。

続いて、2024年度に実施した各会員独自の自動車盗難防止活動について報告があり、その後、2025年度の活動方針について、「協議会会員相互の情報交換を促進していくこと」および「自動車盗難等防止行動計画(令和4年12月改定)に基づき各会員が可能な範囲で独自の活動を推進していくこと」を全会一致で可決しました。

最後に、福岡県警察本部 刑事部 捜査第三課 南海 敏彦 係長から「自動車盗の現状」をテーマに講演がありました。

当支部では、引き続き、本協議会における官民の連携を推進するとともに、会員の皆様と、より効果的な自動車等盗難防止活動に取り組んでいきます。



福岡県自盗協川原会長による開会挨拶



福岡県警池田課長による顧問代表挨拶



福岡県警南海係長による講演



総会の様子